

Ⅱ 研究の方法と本報告書の構成

1. 研究方法

本研究ではデジタル教科書に関する研究と、特別支援教育における ICT 活用に関する研究を並列的に進めた。以下はそれぞれの研究方法である。また、相互に内容的な重なりもある。

「デジタル教科書に関する研究」

- ・ 関係する文献や Web 等の調査
- ・ 市販されているデジタル教科書や海外のソフトの調査
- ・ 海外の先進的な事例に関する調査（本報告書では前年度の海外調査及び Web や国内でおこなわれたセミナーなどでの情報収集）
- ・ 国内の特別支援学校や小学校等に訪問しての聞き取り調査
- ・ 研究協力者との研究協議会（3回）
- ・ 関係する学会、セミナー等への参加と情報収集（ATACカンファレンス、LD学会、日本特殊教育学会等）
- ・ 所内研究分担者での定例会議での検討
- ・ デジタル教科書ガイドライン（試案）の作成

「ICT活用に関する研究」

- ・ 関係する文献や Web 等の調査
- ・ 市販の教育ソフトや支援ソフト、支援機器の調査
- ・ 先進的な学校への実地調査
- ・ 研究協力者との研究協議会（3回）
- ・ 所内研究分担者での定例会議
- ・ 各障害における ICT の教育的活用の内容や方法、ICT を活用した授業改善、ICT を活用した特別支援教育の専門性の向上に関する情報を収集・分析した基礎的な資料のまとめ。

2. 本報告書の構成

本報告書の構成は、本研究の背景と目的について第 I 章で示し、本研究の研究方法について第 II 章で示し、調査の結果については 2 つの章に分けてデジタル教科書に関する検討を第 III 章に、特別支援教育における ICT 活用に関する研究を第 IV 章に記述した。そして、第 V 章で総合考察及びまとめをおこなった。